

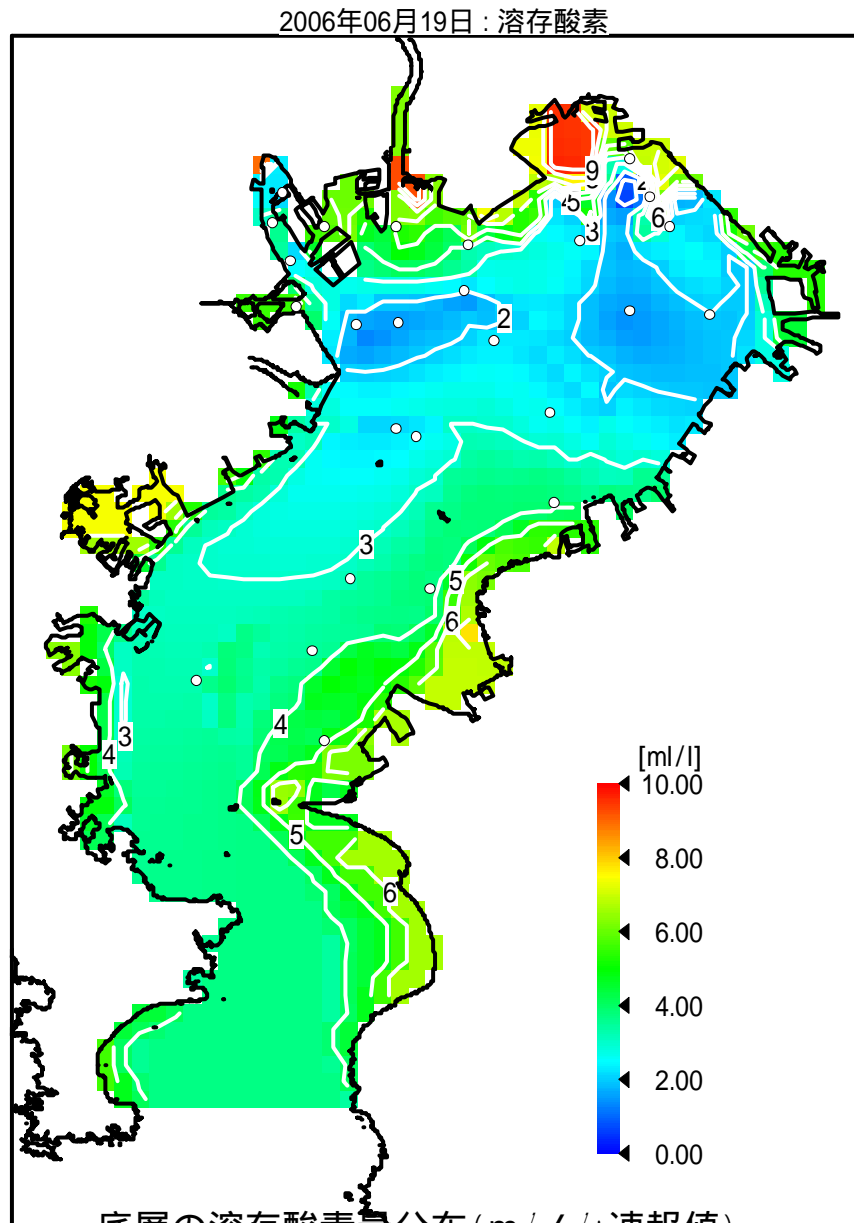
貧酸素水塊速報 (2006年)

千葉県水産総合研究センター(編集)
 神奈川県水産技術センター
 内湾底びき網研究会連合会(千葉県)

協力:海上保安庁海洋情報部
 協力:千葉県環境研究センター
 協力:東京都環境局
 協力:第三管区海上保安本部

貧酸素水塊は内湾北部に範囲が広がりました。表層は赤潮により酸素量が増加しています。

先週再び発生した赤潮は現在も継続し、内湾の広い範囲で赤潮～赤潮気味の状態です。先週は珪藻のスケルトネマ (*Skeletonema costatum*) 主体でしたが、本日のプランクトンは同定中です。水温は表層が20～23℃、底層が15～20℃でした。



底層の溶存酸素量分布 (m///:速報値)
 平成18年6月19日観測分

「東京湾貧酸素水塊予測システム」も運用しています。水産総合研究センターのホームページからご覧ください。携帯電話は<http://www.awa.or.jp/home/cbsuishi/cbmobile.html>からどうぞ

酸素飽和度と溶存酸素量の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5m///	貧酸素水
30～40%	2.0m///	魚類に影響
	1.5m///	貝類危険
	1.0m///	
10%	0.5m///	

